

**[成果情報名]シャインマスカットの無核栽培マニュアルを作成**

**[要約]**「シャインマスカット」の愛知県における産地化を加速するため、「シャインマスカット」の無核栽培について、整枝せん定、無核化のための植物成長調節剤利用方法、着果管理などをまとめた、栽培マニュアルを作成しました。

**[キーワード]**シャインマスカット、無核栽培、平行整枝

**[担当]**愛知農総試・園芸研究部・落葉果樹グループ

**[代表連絡先]** 0561-62-0085

**[区分]**関東東海北陸農業・果樹

---

**[背景・ねらい]**

「シャインマスカット」は愛知県では直売農家を中心に導入がすすんでいます。他県との競争力を強化するためには、早急に産地化を進める必要があります。そこで、本県における「シャインマスカット」栽培技術の標準化を図るため、無核栽培マニュアルを作成しました。

**[成果の内容・特徴]**

1. 「シャインマスカット」は種なし栽培での品質が優れ、近年の消費者も種なし果実を好むことから、無核栽培に限定したマニュアルを作成しました。
2. 果実の生産目標を表1のとおりとし、この達成のための基本的な栽培技術をまとめました。
3. 本県が他品種で技術確立した「平行整枝長梢せん定」は、「シャインマスカット」の無核栽培においても、省力的で高品質な果実生産に適しています（図1）。
4. 無核化処理については、開花前に花穂の先端3cmのみを残し、満開3日後と10～14日後に2回、ジベレリンの25ppmを処理します。ジベレリン25ppmとホルクロルフェニロン10ppmの混合液を満開5日後に1回のみ処理する方法も可能です（図2）。
5. 着果過多や、極端な大房栽培は、糖度が低くなり果実の食味が低下します。150cm程度の長さの新梢を1㎡あたり6～7本配置し、1房重量や10aあたり着房数を目標に従って制限することで食味良好な果実が生産できます。

**[成果の活用面・留意点]**

1. 生産目標は各産地により異なるため、本マニュアルは愛知県の生産目標に従って作成したものです。
2. 植物成長調節剤については、登録内容を確認の上使用してください。

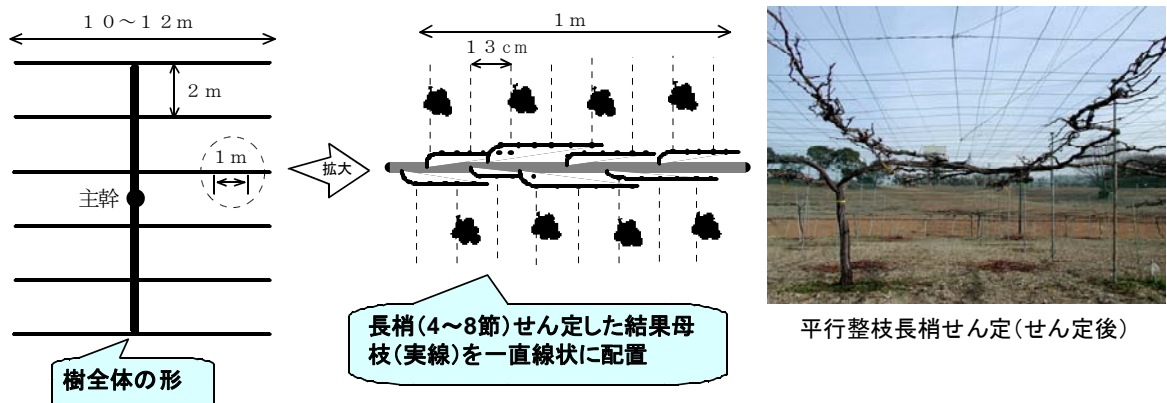
関連情報：<http://www.pref.aichi.jp/0000052105.html>

：<http://www.pref.aichi.jp/nososi/syokai/engei/06.pdf>

[関連資料]

表1 無核シャインマスカットの果実生産目標(愛知県)

|           |                   |
|-----------|-------------------|
| 1 果 粒 重   | : 1 2 ~ 1 4 g     |
| 1 房 粒 数   | : 3 5 ~ 4 0 粒     |
| 1 房 重 量   | : 4 5 0 ~ 5 0 0 g |
| 10aあたり着房数 | : 3, 0 0 0 房      |
| 10aあたり収量  | : 1, 5 0 0 k g    |
| 糖 度       | : 1 8 %以上         |



平行整枝の導入により・・・

- ・作業の効率が向上する
- ・作業の内容が単純になる

従来の短梢せん定の平行整枝と比べ・・・

- ・樹勢が調節しやすい
- ・よい形の花が得やすい

図1 無核シャインマスカットの平行整枝長梢せん定

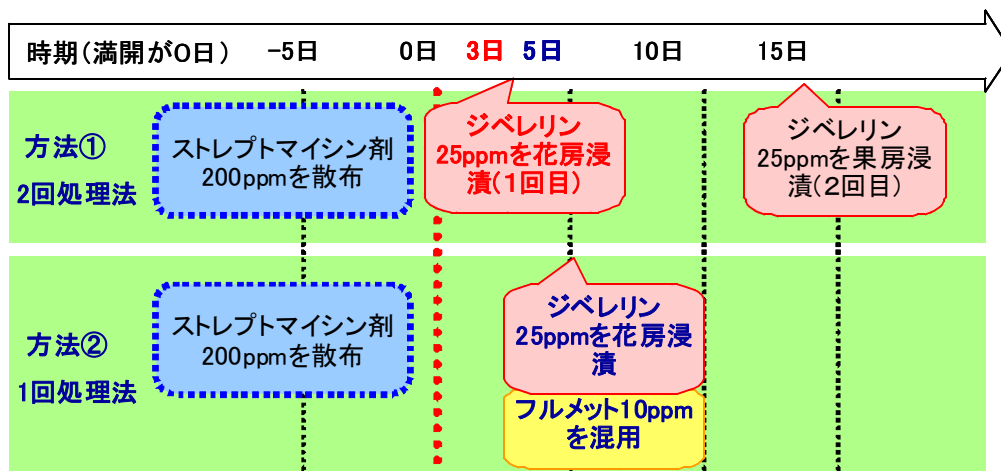


図2 シャインマスカットの無核化処理方法

[その他]

研究課題名：ブドウ・カキ優良品種の省力・高品質安定生産技術の確立

予算区分：県単

研究期間：2009～2018年度

研究担当者：上林義幸